

2024 年度(令和 6 年度)事業報告書

I 事業運営概況

公益財団法人設立の趣旨に則り、霊園事業を運営する法人として健全で安定した財団運営、コンプライアンスを重視した業務執行と墓地管理事業の円滑な推進に努めるとともに、県民の皆様に低廉で良質な墓地の提供を継続的に行い、県民の墓地需要に応え、もって地域の福祉の向上に寄与すべく役職員一同取り組んだ。

また、時代や社会、利用者のニーズの変化を踏まえたサービス水準の向上、自然災害発生に備えた利用者データの保護等のリスクマネジメント事業、健全な経営を維持するための収入確保の取組み等に重点的に取り組むとともに、霊園を維持管理するための従来事業にも継続して取り組んだ。

2024 年度(令和 6 年度)事業計画書

I 令和 6 年度事業計画の新規・重点事業

(1) 社会や時代の要請を踏まえた取組み

ア 利用者サービスの向上に向けて

イ 霊園環境の整備に向けて

ウ サステナビリティ（持続可能性）に向けて

エ DX（デジタルトランスフォーメーション）に向けて

(2) 収入の確保に向けた取組み

(3) 開園 60 年事業の実施

(4) その他(働きやすい職場環境に向けて)

1 社会や時代の要請を踏まえた取組み

(1) 利用者サービスの向上に向けて

① 多様なニーズを踏まえた新たな墓地提供

昨今のいわゆる樹木葬のニーズに応えるため、未使用のZ2区画を活用する樹木墓地ゾーンの開発に向けて協議を行った結果、区画数及び面積は変更せず、普通墓地を予定していたところを永代供養型の樹木墓地に変更するとともに、合祀墓及び合葬墓も設置することとした。また、既存の墓地との違いを明確にし、立地に着目した広報、販売を展開するため、名称を「悠久の丘」に決定するとともに、商標登録の出願を行った。

なお、区画割の変更を行ったため、これに係る「墓地等申請事項変更届」を令和7年3月28日に神奈川県に提出し受理され、令和7年4月から整備工事に着手した。

② 和墓地の参道の整備

高齢者、車椅子利用者にも安全に墓参していただくため、砂利敷きの和墓地参道の整備方法についてコンサルタント業者に委託し、複数の工法提案を受けた。全ての和墓地参道を整備すると1億円以上の費用が見込まれたことから、提案された工法を参考に別途従来からの施工業者と調整したところ、費用対効果が高い簡易な工法の提案を受けたので、令和7年4月以降、一部の参道（3か所）で試行的に実施した。整備目的は十分に達成できることが判明したので、豪雨時の雨水の流れ等の状況を見極めながら、他の和墓地の参道についても順次整備を進めていくこととする。

③ 墓参が難しい利用者向けの新たな事業

年々高齢化が進展する中、現在、墓参が難しい利用者向けサービスとして、希望日に供花及び線香を上げ、墓参後のお墓の写真を撮影して依頼者に郵送する「墓参代行」を実施し、年間100件程度の実績がある。

なお、オンラインでの「墓参代行」については、読経も併せて行う墓参代行を依頼する利用者に対し、そのニーズを把握した上でモデル実施することを計画していたが、令和6年度の実績はなかった。

(2) 霊園環境の整備に向けて

① 霊園内擁壁の詳細な強度診断の実施

開園 60 年を超える中、園内の擁壁の経年劣化の状況について、宮澤顧問（技術）に現地調査を依頼し、現状では耐震上の問題は特にないとの見解を得た。今後は、擁壁に生じているクラックについて経年劣化の状況を定期的に観察することとした（令和 6 年 11 月 30 日 クラックを計測（第 1 回目））。

② 和墓地の参道の整備（再掲）

③ 転落防止柵の設置

植樹により転落防止を図っていた幾つかの箇所、植樹枯れした箇所について、転落防止方法についてコンサルタント業者に委託し、複数の工法について提案を受け、その工法を参考に施工業者と調整し、令和 7 年 4 月以降、緊急性の高い 3 か所について施工した。

④ 合祀墓の新設について検討

既存の合祀墓容量が近く満杯となることから、Z 2 区画に整備を進めている樹木墓地ゾーンの中に合祀墓を新設することとした。なお、区画割の変更を行うため、これに係る「墓地等申請事項変更届」を令和 7 年 3 月 28 日に神奈川県に提出し受理された。

⑤ 四季折々に開花する花木の植樹

既存の植物を活かしながら四季折々に花木が開花するよう、霊園内の植物管理業務を委託している湘南造園に依頼し、今後専門家の指導による樹木剪定を進めることとした。また、多くの利用者が目にする通称「タヌキ山」エリアについて花木の植樹計画を策定した（令和 7 年度実施予定）。

さらに県立愛川高等学校生徒有志による花植活動に協力（年 5 回実施）するとともに、県立中央農業高等学校と連携して、今後霊園内各所に設置予定の花壇に関して、デザインから植栽まで生徒と一緒に進めるプロジェクトを令和 7 年 3 月から開始し、正門付近を中心に植栽を進めた。

⑥ 無縁墳墓の整理

墓石の撤去には多額の費用を要する一方、特に和墓地については撤去後の区画の維持管理が必要になることから、墓地の需要状況を見極めながら実施について検討することとした。

(3) サステナビリティ（持続可能性）に向けて

① EV充放電機器の設置

令和6年10月30日、管理棟に充放電機器の設置が完了し、園内管理用EV車からの放電が可能となった（国補助金437,000円を令和6年12月13日に受理）。



② 紙媒体の顧客情報をデータ化し遠隔地でバックアップ

紙媒体の顧客情報のデータ化は令和5年度に完了した。現在は、災害によるサーバの故障やセキュリティ面を踏まえ、当該データをクラウドに保存するためのクラウドファイルサーバーに移行作業中である。

(4) DX（デジタルトランスフォーメーション）に向けて

① 紙媒体の顧客情報をデータ化し遠隔地でバックアップ（再掲） （前述のとおり）

2 収入の確保に向けた取組み

(1) 多様なニーズを踏まえた新たな墓地提供（再掲）

(2) 各種手数料等の改定に向けた検討

昨今の物価高や人件費の高騰などを踏まえ、安定的な霊園運営に資するため令和7年4月からの霊園管理料を50%引き上げる改定を実施した（令和6年6月26日施行、令和7年4月1日以降の管理料から適用）。

(3) **新**開園60年事業の実施

① 「樹木墓地ゾーン」の整備（愛川）

他の区画から独立した区画に多様な花木で構成され、プレミアム感のある2・4・6人用墓地・合祀墓・合葬墓を兼ね備えた樹木墓地を新たに整備することとした。（前述「多様なニーズを踏まえた新たな墓地提供」のとおり）

② 60年「記念」商品の販売

60年記念として、墓地の特別販売を実施し、第1弾から第3弾で計46件の成約があった。

③ 広報の展開（60年の周知、認知度の向上）

- ・ 陳腐化したHPを全面リニューアルし、知りたい情報に簡単にアクセスできるようにするとともに、スマートフォン仕様も新たに追加した（12月2日リニューアル）。
- ・ 愛川と秦野の2つの霊園について、「2つの霊園の過去と今」をまとめた動画を作成し、両霊園の良さをご理解いただくとともに、PRのためDVD化し関係先に配布した。また、園内の無料休憩所や斎場ロビーで放映するとともに、YouTubeでも視聴できるようにした。
- ・ 財団を紹介するパンフレットを作成し、関係先に配付した。
- ・ 「心の響 秋季号」に60年の記事を掲載した。

④ 休憩用ベンチ・タープテントの設置（愛川）

広大で坂のある園内のため、やすらぎの苑の前や中央通路花壇などに休憩用ベンチを新たに20台増設した。なお、日除け対策のタープテントは、実際に設置したところ強風に耐えられないことがわかり、安全面を考慮し設置を見送った。日除け対策については、引き続き検討中である。



⑤ 園内循環車の運行（愛川）

送迎バスの発着に合わせた園内循環車の運行について、タクシー会社と連携し実証実験を行ったが、混雑時の安全性の確保等の面から、この方法での実施は見送った。なお、現在は霊園所有の乗用車によるオンデマンド型の送迎を行っており、年々送迎回数が増加している。

⑥ 四季折々に開花する花木の植樹（再掲）

（前述のとおり）

⑦ CI（コーポレートアイデンティティ）の展開

60年ロゴマークを作成し、名刺・封筒へ印刷し、利用者等に周知を図ったほか、前記の広報展開に活用した。また、60年をPRする「のぼり旗」を作成し、園内各所に設置して来園者に周知した。



⑧ **D X（デジタルトランスフォーメーション）の推進（再掲）**

（前述のとおり）

⑨ **中期的な経営ビジョンの策定**

財団のビジョンや重点的な取組方針をまとめた「中期経営計画（骨子案）」を第 53 回理事会に提出し、頂いたご意見を踏まえ、引き続き策定作業を進めている。

⑩ **人事制度の改善**

人事評価制度の導入に向けて、現在検討中である。

⑪ **永年勤続者表彰の充実**

これまでの「勤続 20 年」に加え、新たに「勤続 10 年」及び「勤続 30 年」を対象とした表彰を実施し、職員のモラルアップを図った。

⑫ **60 年記念品の配布**

防災ラジオを関係先に配付するとともに、財団の名前を入れたタオル 1,000 枚とボールペン 3,000 本を製作し来園者に配付した。

(4) **その他**

① **ベースアップの検討**

令和 6 年 4 月に平均 5%のベアを実施した。

② **理事会、評議員会等への説明資料の見える化**

パワーポイントを活用した簡潔で分かりやすい資料づくりを実践した。

Ⅱ 相模メモリアルパークにおける事業報告

1 墓地提供事業

(1) 墓地の種類、提供実績

2024年度の永代使用墓の新規墓地提供の実績は、提供面積229.8㎡、93区画で、対前年度比は面積では121.5%（229.8㎡/189.2㎡）、区画数では124.0%（93区画/75区画）であった。

墓地の種類	2024年度実績		2023年度実績	
	提供面積	提供区画	提供面積	提供区画
普通墓地	65.3㎡	39区画	48.1㎡	28区画
芝生墓地	105.2㎡	37区画	85.9㎡	31区画
グリーン墓地	59.3㎡	17区画	55.2㎡	16区画
合 計	229.8㎡	93区画	189.2㎡	75区画
合 祀 墓	—	44件	—	18件
壁 墓 地	—	12区画	—	18区画
やすらぎの苑	—	289件	—	214件

2024年度は60年記念として特別販売を実施したことで前年度よりも増加したが、最近の墓地販売状況は、少子化による承継者不在や葬送に対する考え方の多様化などにより、永代使用墓（以下「普通墓」という）の販売件数は減少傾向にある。

一方、近年、永代供養墓の需要は高まっており、そうした傾向は今後も続くものと思われる。

また、墓じまいに伴う返還墓地は年々増加しており、2018年度に墓地の返還面積が新規提供面積を上回り、翌年の2019年度には件数も逆転して以来、返還墓地は年々増加傾向にある。

(2) 霊園面積の概況（2025年3月31日現在）

霊園全体面積	192,366.70㎡	
提供対象総数	墓地面積	区画数
	88,525.06㎡(100.0%)	26,736区画(100.0%)
提供済	71,588.15㎡(80.9%)	21,102区画(78.9%)
未提供	16,936.91㎡(19.1%)	5,634区画(21.1%)

※面積については、永代供養墓を除いた実測面積である。

(3) 霊園環境整備

墓地の保全管理については、霊園全体の環境保全を重視し、花と緑が織りなす公園墓地として、グリーン墓域・芝生型墓域・和型墓域のそれぞれの特性を生かして、常に墓域がきれいに保たれるよう霊園の管理に努めるとともに、霊園設備の適時なメンテナンスにも鋭意努めた。

また、地域との連携事業の一環として、県立愛川高校の生徒に、県立中央農業高校の生徒が育てた花を定植する取組みを 2022 年度から実施している。また、県立中央農業高校との連携事業も進めている。

(4) 霊園管理料徴収事務

霊園管理料は、霊園の健全な運営と霊園の永続性を支える大事な資金であることから、滞納者に対して、まずは電話での催促、また、転居不明・滞納 3 年以上の墓地に立札を立てるなどの対応に努めた。（立札： 2024 年 7 月 転居不明 14 件、滞納 3 年以上 197 件）

また、利用者の手数料及び霊園職員の事務の負担軽減の観点から、郵便振替から口座振替への切替えについて、霊園管理料請求の都度お願いしており、現在、口座振替の利用者は 15,072 件（78.2%）で、2017 年度比では、件数で 3,425 件（約 29.4%）増加している。

なお、2024 年度の霊園管理料の納入率については、請求額 133,786,866 円に対して納入金額は 120,926,351 円で、納入率は 90.39%（昨年度は 90.75%）であった。

今後も引き続き口座振替への切替えの依頼を継続するとともに、滞納者に対しての督促処理により、納入率の向上に努める。

(5) 預り保証金返済事務

預り保証金は、制度解消に取り組み始めた 1999 年当初、14,030 件、21 億 4,599 万余円あったが、26 年間取り組んだ結果、2025 年 3 月 31 日時点で、残り 182 件、30,245,000 円まで減少した。

なお、2024 年度は、1 件、270,000 円の処理を行った。今後とも、法事等の機会を捉えて、引き続き対象者に理解を得るよう働きかけていく。

2 墓地附帯施設等の管理運営事業

(1) 納骨の受入れ

納骨は、遺骨をご家族のお手許から離れ、お墓に埋蔵する葬儀の中の一儀式であるので、厳粛な業務の進行に努めた。

2024 年度の納骨受入れ件数は、1,169 件で前年度比 103%であった。

(2) 斎場、会席室の提供

2024 年度の斎場使用料収入は、15,270,200 円、会席室使用料収入は 4,955,500 円で、コロナ以前の状況までの回復には至っていないが、前年度に引き続き回復傾向にある。

(3) 法要サービス

法事における利用者の利便に供するため、僧侶や神官の紹介、塔婆申込みの受付などを行った。

僧侶等紹介件数、塔婆本数ともに葬送に対する考え方の変化等に伴う減少傾向に加え、2020 年度は、コロナ禍の影響で 2019 年度比で約 18%落ち込んだ。

2021 年度からはコロナの感染対策が浸透したことで、配慮をしながら葬儀を行う傾向がみられ少し上向いたが、家族葬の増加や通夜を行わず告別式だけの一日葬、更には通夜、告別式ともに行わない直葬の増加など、葬儀形式に大きな変化が生じており、霊園経営においても課題となっている。

(4) 墓石及び供花等の販売委託

墓石、供花(花・櫛・しきみ)等の販売を指定墓石工事業者に引き続き委託した。

3 長期修繕・改修計画に基づく修繕等の推進

1964 年の墓地造成後 60 年余が経過し、擁壁などの経年劣化が散見され、また、建築物の劣化や諸設備の不具合も危惧されることから、擁壁等の基盤の再整備や建築物の修繕や建て替えに備えて長期修繕・改修計画を 2016 年度に策定し、計画に沿って積み立てを行っている。

Ⅲ 湘南森林霊園における事業報告

1 墓地提供事業

(1) 墓地の種類、提供実績

2024 年度は、湘南森林霊園の通年営業 5 年目で、実績は、提供面積 131.00 m²、38 区画であった。

また、墓地購入希望者からの需要が大きい永代供養墓について、合祀墓、合葬墓、家族墓地（2 体用・4 体用）に加えて、2020 年度からは期限付き墓地を整備し、多様な墓地の提供を推進している。なお、期限付き墓地は 2024 年度に新規で 1 件の契約があった。

墓地の種類	2024 年度実績		2023 年度実績	
	提供面積	提供区画	提供面積	提供区画
普通墓地	18.00 m ²	8 区画	39.00 m ²	18 区画
芝生墓地	21.00 m ²	7 区画	39.00 m ²	13 区画
グリーン墓地	4.00 m ²	1 区画	4.00 m ²	1 区画
花木墓地	88.00 m ²	22 区画	80.00 m ²	20 区画
特別墓地	0.00 m ²	0 区画	0.00 m ²	0 区画
合 計	131.00 m ²	38 区画	162.00 m ²	52 区画
合祀墓	—	50 件	—	46 件
合葬墓	—	76 件	—	75 件
家族墓地	270.00 m ²	90 区画	231.00 m ²	77 区画

(2) 霊園面積の概況（2025 年 3 月 31 日現在）

霊園全体面積	199,429.05 m ²	
提供対象総数	墓地面積	区画数
	62,600.60 m ² (100.0%)	14,905 区画 (100.0%)
提供済	3,205.50 m ² (5.1%)	985 区画 (6.6%)
未提供	59,395.10 m ² (94.9%)	13,920 区画 (93.4%)

※ 面積については、永代供養墓を除いた実測面積である。

2 2024 年度の取組み

(1) 委託業務の監督と督励

湘南メモリアルプロジェクト株式会社に委託した霊園の運營業務及び維持管理業務並びに霊園の各種サービス事業について、その執行体制に遺漏のないよう監督、督励を行った。

(2) 知名度・認知度アップに向けた取組み

霊園開園から 6 年が経過し、これまでの広報活動で徐々に知名度が上がってきているが、より一層の知名度向上に向けて、新聞等への広告掲載、アクセス道路の一つである国道 255 号線への新規の看板設置（前年度から継続）、鉄道車内広告の実施、インターネット検索への対策強化などの広報宣伝活動について、媒体を適宜変更しつつ、引き続き取り組んだ。

同様の趣旨で、2023 年 5 月から写経教室を開催しており、2024 年度は 9 回開催で延べ 185 名の参加者を得た。2025 年度においても開催を継続していく。

また、9 月彼岸には知名度向上のための取組みの一つとして、管理棟内でレクイエムコンサートを開催し、延べ 315 名の参加者を得た。この試みは参加者からも高評価を得られ、翌 3 月彼岸時にもコンサートを開催した。以降、彼岸時に開催していく予定である。

地元秦野市観光協会への正会員として加盟を継続しており、上記行事開催に際しては、同協会 HP にアップしてもらう他、協会事務所に霊園のチラシを配架している。

(3) アクセスの利便性の向上に向けた取組み

利用者アクセスの利便性向上を図るため、J R 二宮駅、小田急線秦野駅と渋沢駅からのシャトルバスの運行を継続しており、広報宣伝と合わせて多面的な営業活動に取り組んだ。

Ⅳ 法人運営の状況

1 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会

開催年月日	提 出 議 案	議事の結果
2024 年 6 月 11 日 第 51 回 現在数 6 名 出席数 6 名	第 1 号議案 令和 5 年度事業報告書の承認について	原案のとおり承認
	第 2 号議案 令和 5 年度決算の承認について	原案のとおり承認
	第 3 号議案 顧問の選任について	原案のとおり承認
	第 4 号議案の 1 相模メモリアルパーク墓地使用規程の一部改正について 第 4 号議案の 2 相模メモリアルパーク墓地使用料等の割引に関する規程の一部改正について	原案のとおり承認
	第 5 号議案 第 33 回評議員会の開催について	原案のとおり承認
2024 年 6 月 26 日 第 52 回 現在数 6 名 出席数 6 名	第 1 号議案 代表理事及び業務執行理事等の選定について	原案のとおり承認
	第 2 号議案 常勤役員の報酬月額について	原案のとおり承認
	第 3 号議案 相模メモリアルパーク墓地使用規程の一部改正について	原案のとおり承認
2025 年 3 月 13 日 第 53 回 現在数 6 名 出席数 6 名	第 1 号議案 令和 7 年度事業計画の承認について	原案のとおり承認
	第 2 号議案 令和 7 年度収支予算等の承認について	原案のとおり承認
	第 3 号議案 墓地等申請事項変更届に係る変更事項の承認について	原案のとおり承認
	第 4 号議案 職員就業規則の一部改正について	原案のとおり承認

開催年月日	提 出 議 案	議事の結果
	第 5 号議案 霊園施設管理規程の一部改正について	原案のとおり承認
	第 6 号議案 評議員候補者の推薦について	原案のとおり承認
	第 7 号議案 役員等賠償責任保険契約の更新について	原案のとおり承認
	第 8 号議案 第 34 回評議員会の開催について	原案のとおり承認
2025 年 3 月 28 日 第 54 回 現在数 6 名 出席数 6 名	第 1 号議案 樹木墓地ゾーンの名称について	原案のとおり承認

(2) 評議員会

開催年月日	提 出 議 案	議事の結果
2024 年 6 月 26 日 第 33 回 現在数 7 名 出席数 4 名	第 1 号議案 令和 5 年度事業報告の承認について	原案のとおり承認
	第 2 号議案 令和 5 年度決算の承認について	原案のとおり承認
	第 3 号議案 役員（理事）の選任について	原案のとおり承認
2025 年 3 月 28 日 第 34 回 現在数 7 名 出席数 6 名	第 1 号議案 令和 7 年度事業計画の承認について	原案のとおり承認
	第 2 号議案 令和 7 年度収支予算等の承認について	原案のとおり承認

2 理事・監事・評議員・職員等に関する事項

(1) 理事・監事名（2025年3月31日現在・順不同）

役 職	氏 名	勤 務
理 事 長	安 西 保 行	常 勤
専務理事	茅 野 英 一	常 勤
理 事	安 野 讓 次	非 常 勤
理 事	田 代 欣 久	非 常 勤
理 事	三 浦 修	非 常 勤
理 事	八 木 まり子	非 常 勤
監 事	長 沢 徹	非 常 勤
監 事	鈴 木 順	非 常 勤
理事 6名 監事 2名		

(2) 評議員名（2025年3月31日現在・順不同）

役 職	氏 名	勤 務
評 議 員	長 田 喜 樹	非 常 勤
評 議 員	公 平 一 宏	非 常 勤
評 議 員	熊 坂 直 美	非 常 勤
評 議 員	小 暮 貴 子	非 常 勤
評 議 員	隅 河 内 司	非 常 勤
評 議 員	山 崎 利 枝	非 常 勤
評 議 員	折 笠 初 雄	非 常 勤
評議員 7名		

(3) 役員等協議会委員名（2025 年 3 月 31 日現在・順不同）

役 職	氏 名	備 考
座 長	茅 野 英 一	専務理事
委 員	田 代 欣 久	理 事
委 員	三 浦 修	理 事
委 員	鈴 木 順	監 事
委 員	長 田 喜 樹	評 議 員
委 員	公 平 一 宏	評 議 員
委 員	隅 河 内 司	評 議 員
委員 7 名		

(4) 職員（2025 年 3 月 31 日現在・順不同）

職 名	人 数
執行理事（理事長、専務理事）	2
（嘱）参与	1
事 務 局	
事務局長・墓地管理者	1
管理担当次長	1
管理部	1
業務部	4
再雇用	1
臨 時	3
パートタイム職員	17（受付4、清掃2、屋外作業11）
愛 川	
執行理事	2 名
常勤職員	11 名
非常勤職員	18 名（嘱託・パートタイム職員）
湘南森林霊園	
専務理事（兼）管理事務所長・墓地管理者	1
合 計	
執行理事	2 名
常勤職員	11 名
非常勤職員	18 名（嘱託・パートタイム職員）